


<b>【教材・教具名】</b> 述語かるた	<b>【教科・領域】</b> 国語
<b>【教材の使用材料】</b>  <p>A 主語 札 表 裏      B 述語 札 表 裏</p> <p>・紙   ラーミネートシート   PC   筆記具</p>	<b>【購入場所】</b>
<b>【ねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（主語、述語で構成された）二語文の理解と使用</li> <li>・簡単な文章を読んで、理解し行動化する。</li> </ul>	
<b>○使用方法</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①かるたとして、使用する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○慣れるまでは、読み札は A 主語札がよい。</li> <li>○慣れてきたら、逆転して B 述語札を読み札とするのもおもしろい。</li> <li>○分からない（言葉としてなじみがない）ときは、読み札も取り札も裏のイラスト面を使用しながら、あくまでも言葉を聞いた上で取るようにする。</li> </ul> </li> <li>②机を二つ用意して、A 主語札の群 と B 述語札の群を作り マッチングをするというゲームもある。組み合わせられたら 「傘を」「さす」 とった本人が読むようにする。</li> <li>③さらに具体物を教室内に用意し（例の場合、傘） 正解の組み合わせができたあと、具体物を探させ、行動化させる（動作ゲーム）をするのもおもしろい。</li> </ol> <b>○工夫した所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活でよく使う（生徒もよく耳にする）、述語（動詞）をたくさん選んだ。</li> </ul> <b>○今後工夫したい所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語札の助詞を シール式にして、助詞を簡単に変更できるようにする。</li> <li>・主語札に対して、述語札が複数という例も作りたい。（「窓を」→「あける」「しめる」）</li> </ul>	
<b>○効果</b> かるた遊び感覚で、楽しく特に動詞、文としての組み合わせを覚えることができた。	
<b>○参考文献・URL</b>	

教材・教具写真

